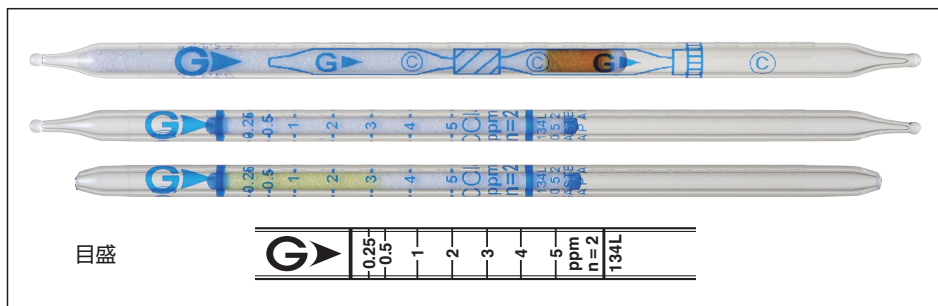


四塩化炭素 CCl₄

No.134L

Carbon tetrachloride



仕様

測定範囲	0.25 ~ 5 ppm	5 ~ 11 ppm
吸引回数	2回(基準) (200mL)	1回 (100mL)
係数	1	2.2
測定所要時間	4分	2分

検知限度： 0.04 ppm (2回吸引)

変色： 白色 → 黄色

温・湿度補正： なし

有効期間： 12か月 冷蔵庫保存 (10℃以下)

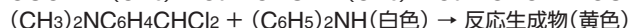
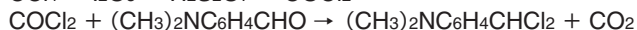
変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数=σ：標準偏差÷平均値×100)

反応原理

四塩化炭素は酸化剤によりホスゲンを生成し、p-ジメチルアミノベンズアルデヒドと反応して中間体を生成し、ジフェニルアミンと反応して黄色を呈する。



干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
塩化水素		影響しない	変色しない
塩素, 臭素	3/10倍以上	+	0.4ppmまで変色しない
臭化メチル	2.5倍以上	+	2.5ppm以上で淡黄色に変色
1,1,1-トリクロロエタン	14ppm以上	+	17ppmまで変色しない

この検知管で測定できる他のガス

ガス名	換算方法	吸引回数	測定範囲
クロロピクリン	係数：1.1	2	0.28 ~ 5.5 ppm

校正用ガス

ガス拡散管法